

その他の道路貨物運送業における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
2	11~12	当社車庫で運搬作業を終え、車庫内でコンテナ洗浄作業の際、作業を終えコンテナ内部から降りようとした際に、足がホースに絡まりコンテナより落下し転倒した。安全靴は履いていたが、右膝を強打し負傷した。	63	1 ～ 9
4	10～ 11	商品を荷降ろし中に自車両に積んでいた荷物（一斗缶）が滑り、左足親指の近くの甲に落下した。	60	—
7	12~13	自社駐車場にて別のトラックに積み変える荷物を自分のトラックの荷台に登り整理、準備してトラックの荷台から降りようとした時、左足爪先が荷物に引っ掛かり約1mの高さの荷台から落下。右手、右膝を地面に強打して右手、右膝を負傷。	58	10 ～ 29
7	6~7	客先にて荷積みに行き、フレコンを荷台に積み込みしていた際、雨が降っていたので、フレコンの上に登り、積み込んだフレコンにシートをかけ終えて降りようとしたとき、フレコンの袋の溝の部分に右足がはまってしまっていたため、バランスを崩して転倒した。フレコンにはまっていた右足をひねって骨折したものである。	63	10 ～ 29
7	12～ 13	営業所においてベッドの搬送作業中、トラックの荷台からベッドを降ろして設置する際に、2人でベッドの両端を持ち移動する時にタイミングが合わず、後ろ向きに運んでいた被災者がベッドに押され転倒し、体を打ちつけて負傷した。	69	50 ～ 99
7	11～ 12	構内において、アルコール入りのポリ容器（18kg）をトラックに積み込む作業中に、急に腰に痛みを感じて負傷したものである。	48	10 ～ 29
10	16～ 17	倉庫内での作業中に置いてある荷物につまずき転倒。左膝を床に打ち、骨折。	58	30 ～

				49
11	15～ 16	取引先で、ミカン箱程度の段ボールケース（7～8kg）をパレットから車両の荷台へ2ケースずつ中腰の状態で積み込んでいた。作業半ばからペースも早まり、9割程度作業が済んだところでケースを持ち上げた瞬間に右腰にピリッとした痛みと違和感があったが、無理をして最後まで作業を続けた。痛みは続いていたが、翌日の病院予約をして湿布で対処した。翌朝、寝床から起き上がれず診察を断念し、自宅で療養した。その翌日、杖をついて病院に向かい受診した。	60	10 ～ 29

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html